

# 株式会社 テック

所在地：竹原市西野町195-1

昭和  
61年  
設立

## 「極限を追求する」生産ライン。

テックの手掛けるフィルムの加工とは、極論すれば「製品を打ち抜き貼り合わせる」という極めてシンプルなもの。それぞれのプロセスをこなす設備さえあれば、国外での安価な生産も可能となる領域です。しかし製品が万全の機能を発揮するには、ごく微細な気泡や異物の混入も許さない加工精度が不可欠。さらに人の手が掛からない場所は可能な限り機械化を進めることで、コスト面での競争力も維持。この「精度とコスト」という相反するテ

クを極限まで突き詰めることで、テックはメーカーとしての存在価値を向上させています。精度の向上のための、様々な工夫や技術。合理化に向けた、独自の発想によるオリジナル設備。テックが全てを注ぎ込んで作り上げた生産ラインは、私たちの努力の結晶であり、将来のさらなる展開に向けた「布石」とも言える存在です。



### ■ダイレクト目視技術

一部カメラによる認証システムを導入しているものの、フィルムの異常を検知する上で最も大きな役割を果たしているのは、熟練検査員の目視による確認工程。暗所でフィルムに光を反射・透過させ「違和感」を感じる技術は、まさに機械化が困難な「匠の技」の領域にあります。



### ■S照明

「匠の技」をサポートするのが、テックの独自開発によるS照明。フィルムにストライプ状の光を当てて規則的な模様を投影することで、表面のわずかな凹凸や微細な異物を一層認識しやすくする効果を有しています。

## PRODUCTION PROCESS



### 1 打ち抜き

受注先から納入されるフィルムの「断反」を指定寸法にカットしていく工程です。要望に応じて画像カメラによる位置決め機能を搭載した打抜機を採用しており、精密な加工を求められるカットの際にはピナクル刃型を用いて±0.10mmの精度を実現します。



### 2 選別・完成品検査

カットされたフィルムに傷や異物混入などの欠陥はないかをチェックします。機械による画像認識では一定以上の成果が出ないため、このプロセスでは厳しい条件をクリアした熟練スタッフの「人の目」によるチェックが行われます。



### 3 端面加工

用途によっては、フィルムにさらに特殊なカッティング加工が必要となる場合もあります。この工程では顧客の要望に合わせた追加加工を施します。イレギュラーな要望にも迅速に対応できる体制も、テックの強みとなっています。



### 4 梱包・出荷

完成したフィルムは計量・カウントを経て、納品先へと出荷。輸送中の損傷の可能性も考慮した丁寧な梱包もまた、当社が誇る技術の一角。国内メーカーならではの迅速な対応で、顧客のニーズを満たすサービスを提供してまいります。



### ■Class10,000クリーンルーム

加工を行う場合は全て、1立方フィート(約30cm四方)の空気中に含まれる0.5μm以上の粒子の数が10,000個以下に認定(Class10,000)されたクリーンルーム。入り口にはエアシャワー設備を備え、空調にも特殊フィルターを設置するなど徹底した防塵対策が採られています。

### ■マーキングマシン

フィルムの表裏を判定する目安となるマーキング。そのスタンプを押すためにフィルム表面の潤滑剤を払拭するプロセスを、大気圧プラズマにより自動化した自社開発のオリジナル設備。従来の手でふき取る作業に比べて労力を大幅に削減し、また異物が混入するリスクも減らすことができました。



プラズマ表面処理ユニット

### ■統合生産管理システム

各工程には専用端末が設置されており、生産活動の進行状況を随時入力。日々の工程の進捗と必要業務量をリアルタイムで把握。生産管理システムを導入しています。現場スタッフとより、生産計画の確実な達成に向けて大きな力を発揮しています。



### ■自動貼り合わせ加工

タッチパネル等の生産に必要な貼り合わせ工程も自動化設備を開発。2機のカメラでパターンを認識・測定し、正確な位置取りを行います。これにより大幅な品質の安定化、また人手に比べて3倍の処理スピードの向上が実現しました。